

令和7年度 東海農政局農業農村整備等事業技術検討会 補足説明資料



阿久比排水機場(撤去)



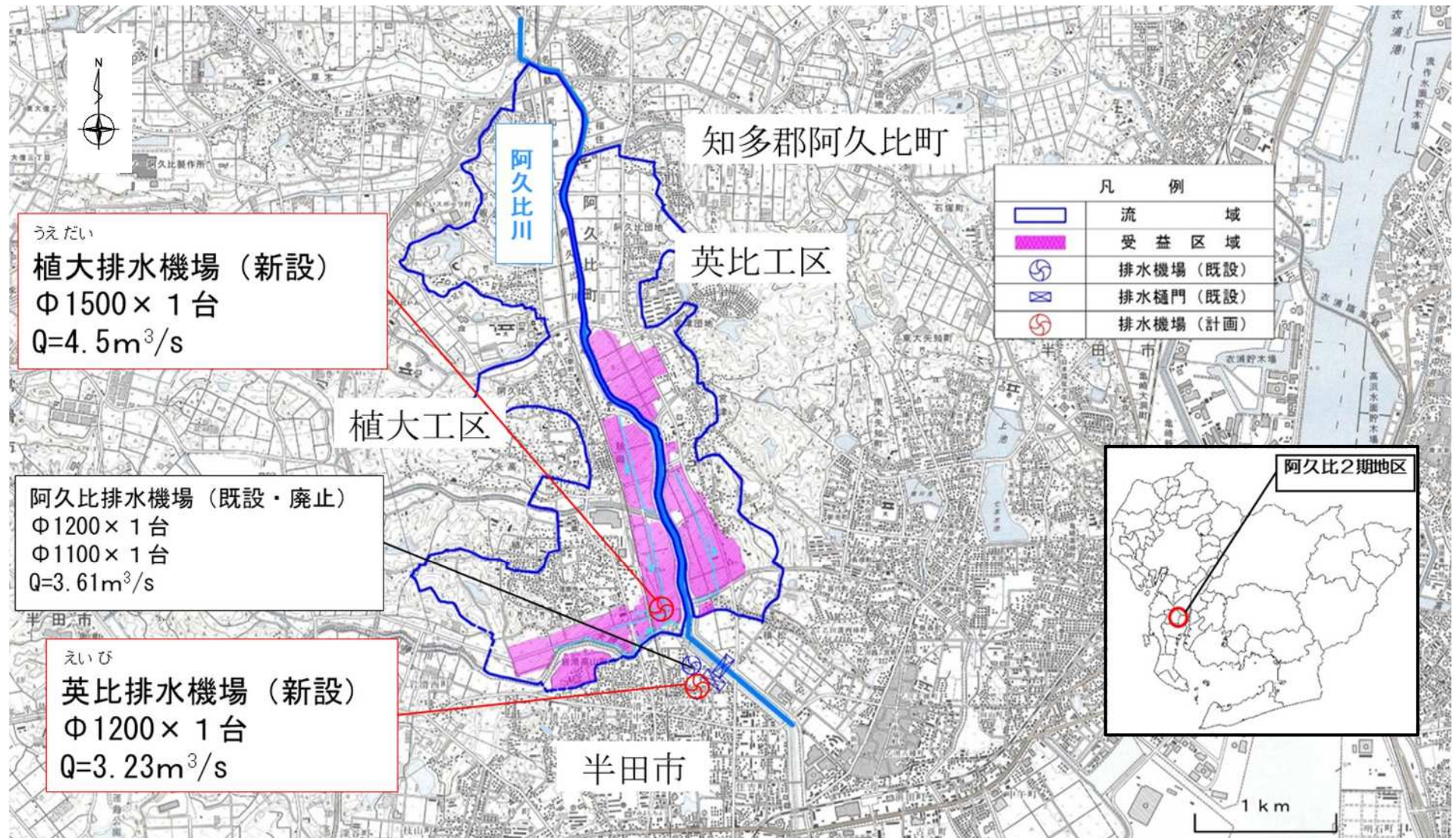
植大排水機場(新設)

農村地域防災減災事業
「阿久比^{あぐい}2期地区」
(愛知県半田市及び知多郡阿久比町)

農村地域防災減災事業「阿久比２期地区」の概要

事業地区名 市町村名	阿久比２期地区(愛知県半田市及び知多郡阿久比町)
地区の概要	本地区は、愛知県南部にある知多半島の半田市、知多郡阿久比町に位置し、二級河川阿久比川両岸に広がる流域面積501.2haの低平な農業地域であり、水稻中心の農業経営のほか、畑での野菜の生産による農業経営が展開されている。 地区内の排水は、通常時は自然排水されるが、洪水時は阿久比排水機場により阿久比川へ強制排水している。しかし、流域開発による降雨流出量の増加や施設の老朽化に伴う排水能力の低下により、地区の排水状況は著しく悪化し、豪雨時にはしばしば農地や農業用施設、公共施設等に湛水被害が生じている。 このため、排水機能が低下した阿久比排水機場を廃止し、植大排水機場及び英比排水機場を新設することにより湛水被害を防止し、本地域全体として農業経営の安定と国土保全を図るものである。
全体事業費	2,751百万円<変更計画 4,158百万円> (現計画 2,065百万円) (負担割合 国 50% : 県 35% : 市 15%)
受益面積 (湛水面積)	108.7ha (田72.8ha、畑 4.0ha、その他 31.9ha) <変更計画 103.5ha(田 68.4ha、畑 3.9ha、その他 31.2ha) >
事業内容	植大排水機場 1か所 (排水ポンプφ1,500mm×1台) 英比排水機場 1か所 (排水ポンプφ1,200mm×1台)
事業期間	平成27年度～令和10年度<変更計画 平成27年度～令和13年度> (計画工期:平成27年度～令和8年度)

「阿久比2期地区」位置図

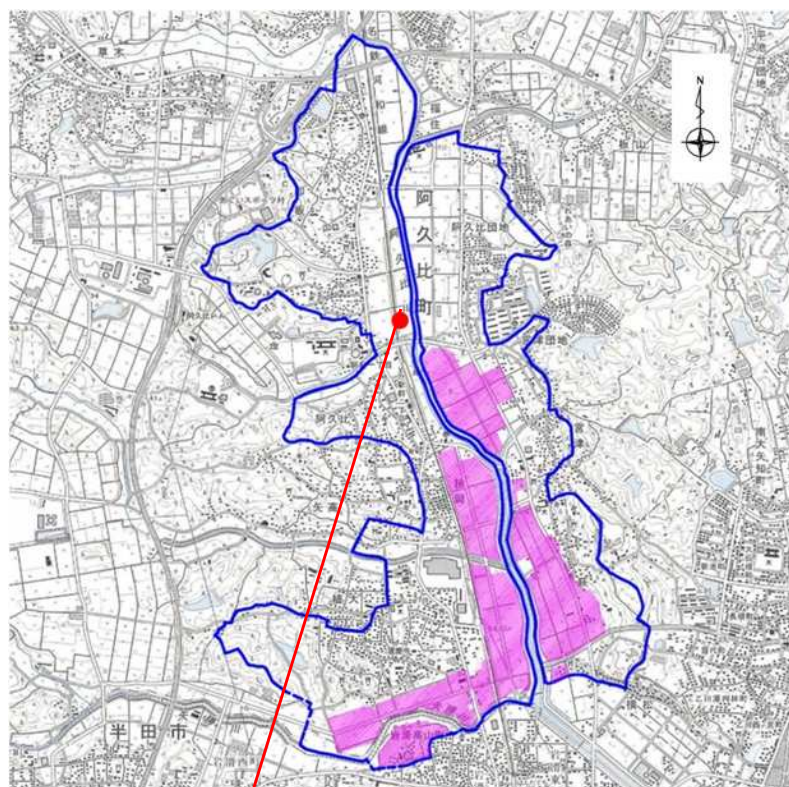


事業の目的

経年変化に伴う排水機の機能低下や地区内開発による流出量の増加等により排水状況が悪化し、既存の排水施設では対応が困難となっており、排水機場の新設整備を実施。

地区内の湛水状況

平成12年9月11～12日 東海豪雨



撮影場所



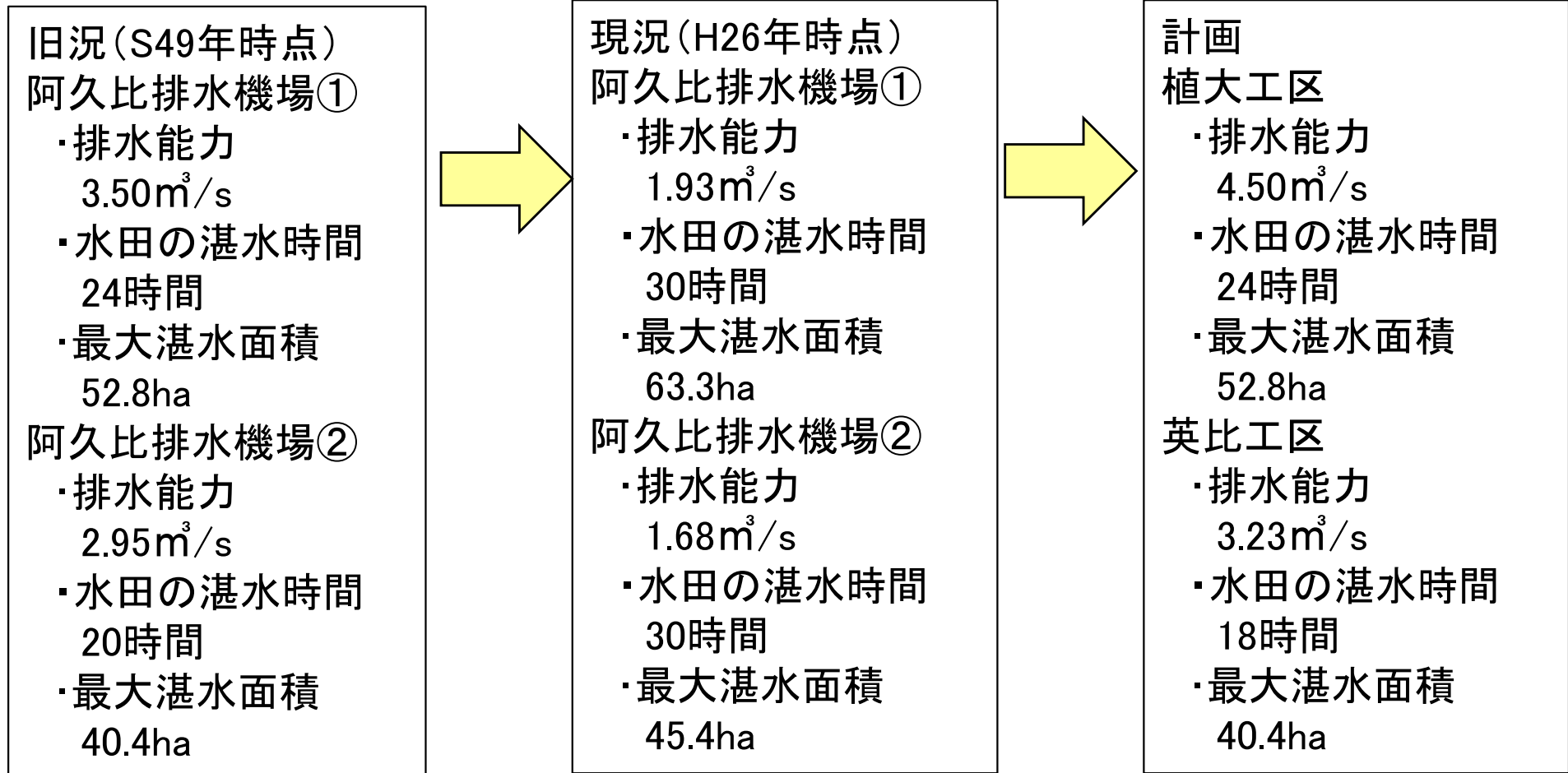
平常時



湛水時

排水不良の原因

＜ 3 日連続雨量 (20年確率) におけるシミュレーション結果＞



＜排水不良の原因＞

		・排水機の機能低下		・地区内開発による流出率の増加	
植大工区	旧況	3.50m ³ /s	→ 現況	1.93m ³ /s	旧況 88.0% → 現況 89.3%
英比工区	旧況	2.95m ³ /s	→ 現況	1.68m ³ /s	旧況 86.3% → 現況 88.7%

費用対効果分析

○総費用

総費用（現在価値化）	5,838,957千円
当該事業による費用	4,036,780千円
その他費用	1,802,177千円

○総便益

総便益額（現在価値化）	8,580,715千円
-------------	-------------

○総費用総便益比

$$\text{総便益} / \text{総費用} = 1.46$$

事業の進捗状況

排水機場工

【当初計画】

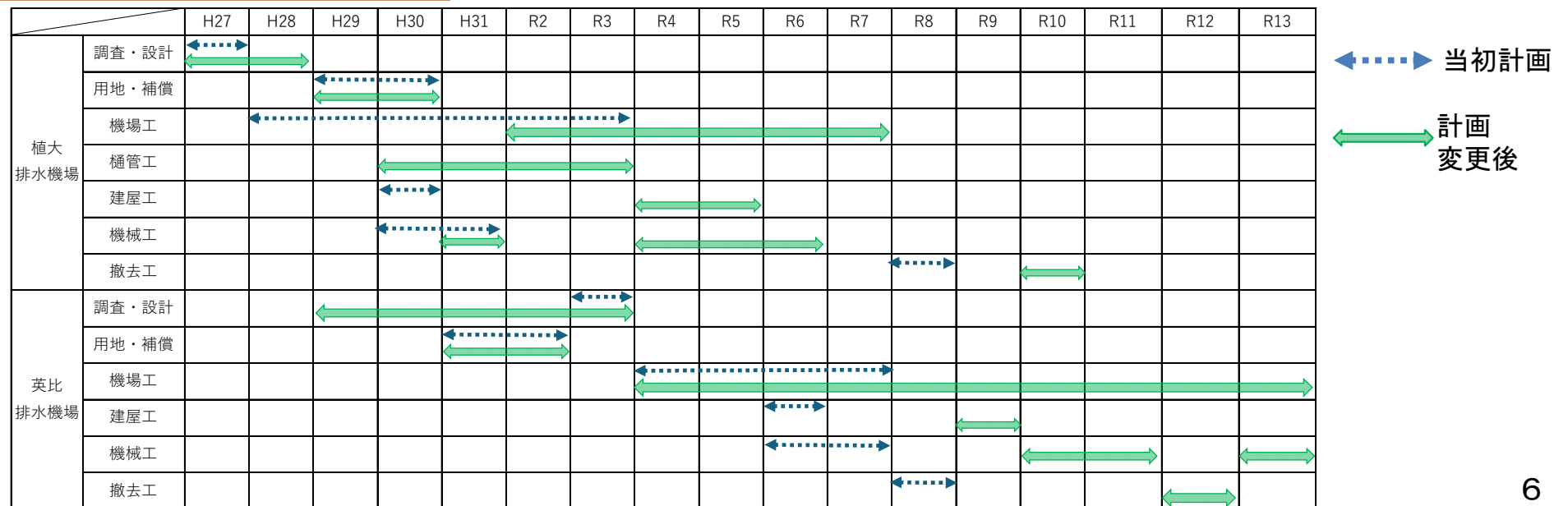
県内の一般的な排水機場の新設・廃止工事の工期を設定（2機場で12年間）

本地区は阿久比川右岸にある阿久比排水機場 1 か所で両岸区域の排水を担ってきたが、右岸側の排水状況が悪いため、排水機場を 2 か所に分散させて改修する計画である。排水機場を分散させる事例は少なく、排水機場管理者や河川管理者との調整も長期化した。

その後、実施設計の見直しをしたところ、遊水地護岸工や仮設工において地盤が想定よりも固いことが判明し、鋼矢板打設工法の変更を要したこと。また、英比排水機場周辺の宅地開発が進み、資材（鋼矢板や鉄筋等）の長さや大型機械の搬入に制限ができたこと等によって事業量増となった。

工期を5年延長

今後のスケジュール（予定）



環境への配慮

<施工上の配慮>

- ・低騒音・低振動及び排出ガス対策型の環境負荷の低い機械を使用している。

○低騒音・低振動及び排出ガス対策型



<生態系への配慮>

- ・仮締切内に魚類(コイ、フナ)が入り込んだ場合には河川下流に放流するなどの配慮を行う。

コスト縮減

一部の建設発生土の隣接農地のかさ上げへの利用により、積極的にコスト縮減を図る予定となっている。

植大排水機場隣接農地

